

衛研第2-30号
平成29年10月25日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. 今週の注目される定点把握対象疾患の推移（グラフ）
3. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
4. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
5. 全国及び関東情報
6. Saitama Infectious Agents Surveillance Report
Topics（埼玉県の腸管出血性大腸菌検出状況）
7. 今週の流行状況

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493-59-9325
FAX 0493-59-9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 29 年 第 42 週（平成 29 年 10 月 16 日～平成 29 年 10 月 22 日）

今週の注目される疾患

図は 次ページを参照

全数把握対象疾患では、一類及び二類（結核を除く）感染症の届出はなかった。三類感染症は、腸管出血性大腸菌感染症 1 人の届出があった。四類感染症は、E 型肝炎 1 人、デング熱 1 人、レジオネラ症 2 人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢 1 人、後天性免疫不全症候群 1 人、侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 人、侵襲性肺炎球菌感染症 1 人、梅毒 4 人の届出があった。

定点把握対象疾患では、**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(1.75 2.43：図 1)の定点当たり報告数は前週より増加し、今後の動向には注意が必要である。保健所別では、13 保健所管内で前週の定点当たり報告数を上回り、川口(2.94 4.71)、春日部(1.83 4.33)保健所管内で大きく増加し、熊谷(4.22)、朝霞(3.64)保健所管内からの報告が多い。**手足口病**(2.97 2.54：図 2)の定点当たり報告数はわずかな減少に留まり、依然として過去 4 年の同時期より多い。保健所別では、熊谷(4.89)、坂戸(4.00)保健所管内からの報告が多い。**RS ウイルス感染症**(0.91 0.54：図 3)の定点当たり報告数は前週より減少したが、幸手(1.33)保健所管内では未だ多い状況が続いている。眼科定点報告対象疾患では、**流行性角結膜炎**(0.98 1.51：図 4)の定点当たり報告数は前週より増加した。年齢階級別では、30～40 歳代が全報告数(62 人)の約半数(29 人)を占めている。基幹定点報告対象疾患では、**無菌性髄膜炎** 2 人、**マイコプラズマ肺炎** 3 人の報告があった。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし（結核を除く）	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1 人（類型 患者、血清型 不明）
四類感染症	E 型肝炎	1 人（推定感染地域 国内）
	デング熱	1 人（推定感染地域 国外）
	レジオネラ症	2 人（病型 肺炎型 2 人）
五類感染症	アメーバ赤痢	1 人（病型 腸管アメーバ症）
	後天性免疫不全症候群	1 人（病型 無症状病原体保有者）
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 人
	侵襲性肺炎球菌感染症	1 人
	梅毒	4 人（病型 早期顕症 期 1 人、早期顕症 期 1 人 無症状病原体保有者 2 人）

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

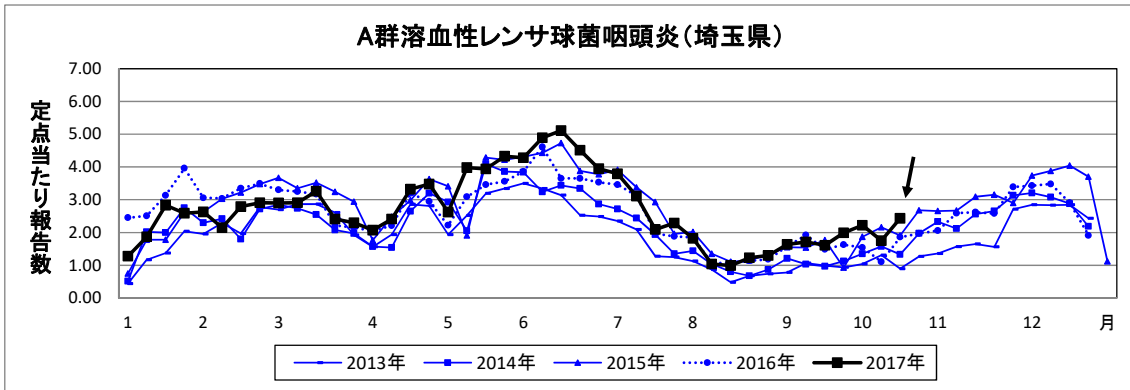


図2 手足口病

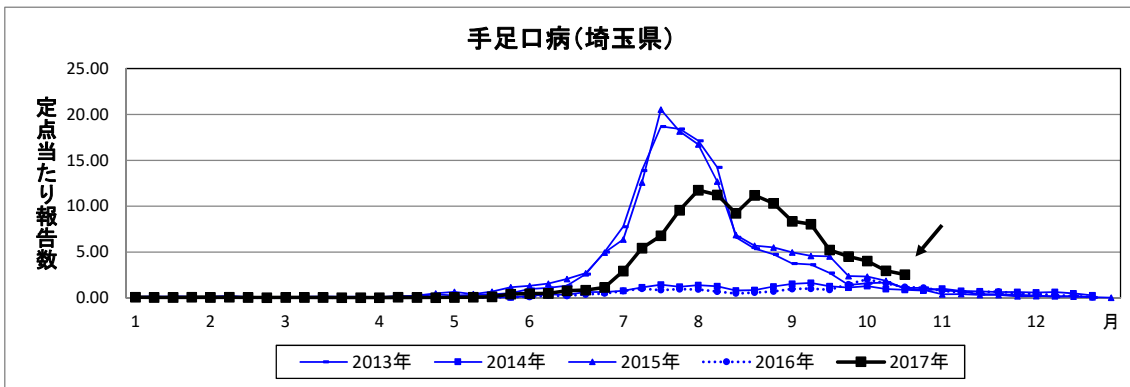


図3 RSウイルス感染症

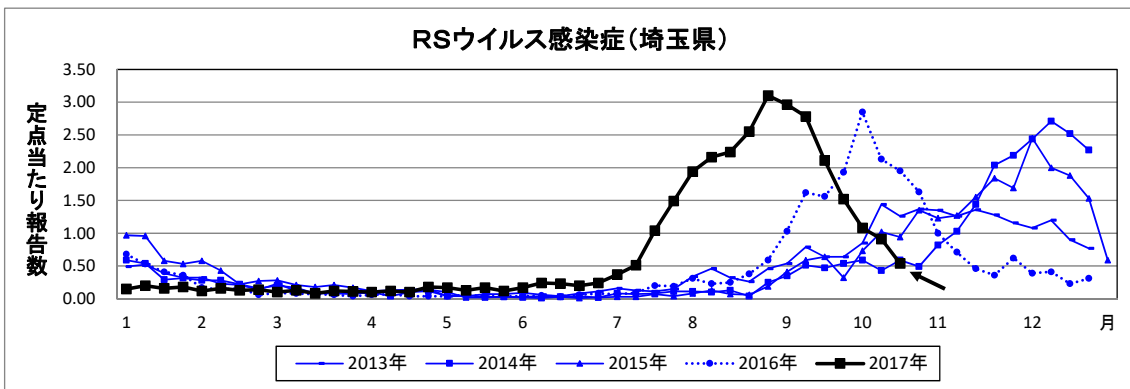
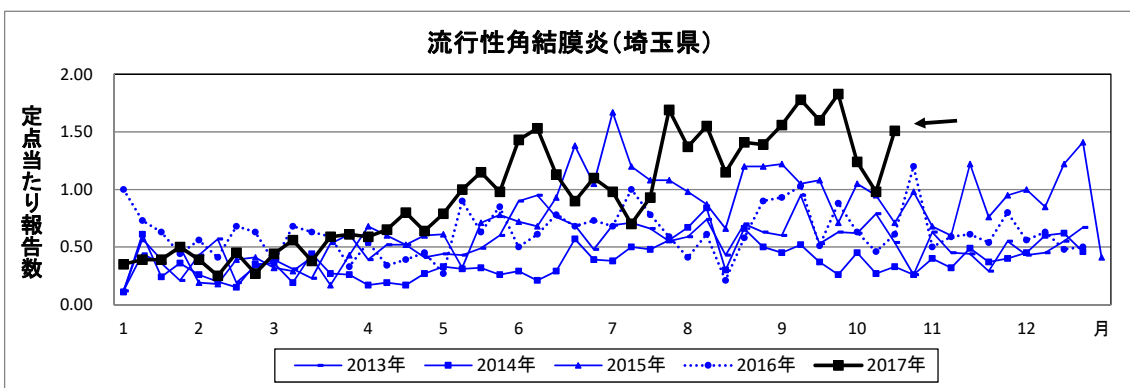


図4 流行性角結膜炎



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第42週)

(2017年10月24日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		6	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	1	234			
四類感染症					
E型肝炎	1	17	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		12	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサナル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	2	78
つつが虫病			レプトスピラ症		2
デング熱	1	10	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	1	44	侵襲性肺炎球菌感染症	1	98
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		10	水痘*		12
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		50	先天性風しん症候群		
急性脳炎		36	梅毒	4	176
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		3
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	破傷風		2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		16	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	1	30	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		9
ジアルジア症			風しん		5
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	15	麻しん		5
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		7
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	7	3		

累計は診断日で集計

* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生動向調査 週情報		保健所別 (第42週)										平成29年10月16日～平成29年10月22日)									
保健所	報告患者数	報告患者数										報告患者数									
		インフルエンザ #1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽A群溶血性レンサ球菌	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感(口)染(性)性胃腸炎	インフルエンザ(入院)			
県	報告数	45	87	71	394	600	72	412	10	73	-	138	42	-	62	-	2	3	-	-	
川	報告数	0.18	0.54	0.44	2.43	3.70	0.44	2.54	0.06	0.45	-	0.85	0.26	-	1.51	-	0.20	0.30	-	-	
朝	報告数	8	15	26	80	97	6	41	1	8	-	30	7	-	12	*	*	*	*	*	
朝	報告数	0.31	0.88	1.53	4.71	5.71	0.35	2.41	0.06	0.47	-	1.76	0.41	-	2.40	*	*	*	*	*	
朝	報告数	2	9	9	51	71	6	48	-	16	-	16	3	-	9	-	-	-	-	-	
朝	報告数	0.10	0.64	0.64	3.64	5.07	0.43	3.43	-	1.14	-	1.14	0.21	-	2.25	-	-	-	-	-	
朝	報告数	-	6	7	26	28	11	23	1	4	-	1	2	-	7	*	*	*	*	*	
朝	報告数	-	0.50	0.58	2.17	2.33	0.92	1.92	0.08	0.33	-	0.08	0.17	-	2.33	*	*	*	*	*	
朝	報告数	-	-	-	6	21	1	8	-	-	-	1	2	-	-	-	-	1	-	-	
朝	報告数	-	-	-	1.20	4.20	0.20	1.60	-	-	-	0.20	0.40	-	-	-	-	1.00	-	-	
朝	報告数	6	1	-	4	2	-	1	1	-	-	-	-	-	*	-	-	-	-	-	
朝	報告数	1.20	0.33	-	1.33	0.67	-	0.33	0.33	-	-	-	-	-	*	-	-	-	-	-	
朝	報告数	2	2	-	1	12	2	1	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
朝	報告数	0.29	0.50	-	0.25	3.00	0.50	0.25	0.50	0.25	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	
朝	報告数	1	2	4	38	60	10	44	2	2	-	17	4	-	6	-	-	-	-	-	
朝	報告数	0.07	0.22	0.44	4.22	6.67	1.11	4.89	0.22	0.22	-	1.89	0.44	-	3.00	-	-	-	-	-	
朝	報告数	2	-	1	3	-	6	15	-	2	-	12	3	-	-	*	*	*	*	*	
朝	報告数	0.20	-	0.17	0.50	-	1.00	2.50	-	0.33	-	2.00	0.50	-	-	*	*	*	*	*	
朝	報告数	-	3	3	26	40	3	18	-	2	-	4	-	-	1	*	*	*	*	*	
朝	報告数	-	0.50	0.50	4.33	6.67	0.50	3.00	-	0.33	-	0.67	-	-	1.00	*	*	*	*	*	
朝	報告数	2	12	6	23	12	7	16	-	2	-	7	2	-	-	-	-	1	-	-	
朝	報告数	0.14	1.33	0.67	2.56	1.33	0.78	1.78	-	0.22	-	0.78	0.22	-	-	-	-	1.00	-	-	
朝	報告数	1	2	1	5	30	2	24	-	4	-	11	2	-	-	-	-	-	-	-	
朝	報告数	0.10	0.33	0.17	0.83	5.00	0.33	4.00	-	0.67	-	1.83	0.33	-	-	-	-	-	-	-	
朝	報告数	9	7	-	17	22	3	35	1	6	-	3	2	-	-	*	*	*	*	*	
朝	報告数	0.47	0.58	-	1.42	1.83	0.25	2.92	0.08	0.50	-	0.25	0.17	-	-	*	*	*	*	*	
朝	報告数	7	11	3	37	53	3	28	-	4	-	5	5	-	6	-	-	-	-	-	
朝	報告数	0.28	0.69	0.19	2.31	3.31	0.19	1.75	-	0.25	-	0.31	0.31	-	1.20	-	-	-	-	-	
朝	報告数	1	1	-	10	24	1	24	-	1	-	6	7	-	-	*	*	*	*	*	
朝	報告数	0.08	0.13	-	1.25	3.00	0.13	3.00	-	0.13	-	0.75	0.88	-	-	*	*	*	*	*	
朝	報告数	-	5	2	16	8	1	23	1	6	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	
朝	報告数	-	0.63	0.25	2.00	1.00	0.13	2.88	0.13	0.75	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	
朝	報告数	4	11	9	51	120	10	63	1	15	-	19	2	-	21	-	2	1	-	-	
朝	報告数	0.10	0.41	0.33	1.89	4.44	0.37	2.33	0.04	0.56	-	0.70	0.07	-	2.63	-	2.00	1.00	-	-	

(一: 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く #2 真菌性を含む #3 オウム病を除く 10月 24日 13:00

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第42週 平成29年10月16日～平成29年10月22日)

	年齢別																				
	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ #1	45	-	-	1	-	1	8	4	-	1	6	4	5	2	3	4	5	1	-	-	-
RSウイルス感染症	87	17	20	29	10	6	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	71	-	4	9	10	8	11	9	4	5	2	1	3	1	4	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	394	1	1	9	20	33	47	54	51	47	35	24	36	9	27	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	600	3	47	81	59	48	54	57	44	22	30	29	47	11	68	-	-	-	-	-	-
水痘	72	1	3	5	11	2	4	4	11	10	11	3	7	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	412	2	24	124	74	67	42	27	17	7	10	3	10	1	4	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	10	-	1	1	1	1	1	-	-	1	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	73	2	21	43	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	138	-	8	31	33	14	14	14	9	4	3	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	42	-	1	-	2	4	7	9	8	2	4	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	62	-	-	2	4	3	3	1	-	2	-	-	1	3	3	15	14	4	2	5	-
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ 表中の数値は各定点からの報告数 (-:0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第40週

(10月2日～10月8日)

平成29年10月25日

インフルエンザの定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(6.12)、長崎県(0.43)、山口県(0.34)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は23例と前週と同値であり、12道府県から報告があった。

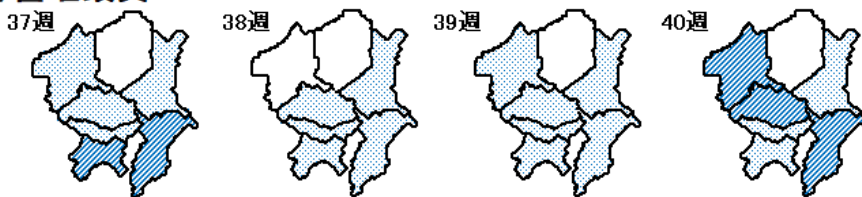
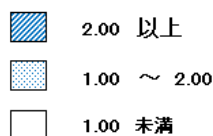
RSウイルス感染症の報告数は6,155例と3週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約68%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は北海道(1.73)、鹿児島県(1.33)、宮崎県(1.31)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(4.05)、山形県(3.67)、福岡県(3.11)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は大分県(6.64)、宮崎県(6.47)、岡山県(5.41)である。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は滋賀県(0.53)、徳島県(0.48)、沖縄県(0.44)である。手足口病の定点当たり報告数は第35週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は茨城県(4.48)、宮城県(4.41)、福島県(4.07)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は岩手県(0.28)、山形県(0.27)、群馬県(0.19)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(1.50)、大分県(1.31)、岩手県(1.28)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は秋田県(3.13)、石川県(1.00)、群馬県(0.88)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は横ばいであった。3県から3例報告があり、年齢別では1～4歳(3例)であった。

<関東情報>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、埼玉県(2.23)、群馬県(2.12)、千葉県(2.07)からの報告が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



		平成29年 40週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	1,047	218	10	6	3	42	35	54	68
	定点当たり	0.21	0.15	0.08	0.08	0.03	0.17	0.16	0.13	0.21
RSウイルス感染症	報告数	6,155	1,088	99	82	92	175	212	279	149
	定点当たり	1.95	1.15	1.32	1.71	1.59	1.09	1.58	1.07	0.71
咽頭結膜熱	報告数	1,377	321	22	13	14	81	43	82	66
	定点当たり	0.44	0.34	0.29	0.27	0.24	0.50	0.32	0.32	0.31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	5,269	1,725	99	37	123	359	277	461	369
	定点当たり	1.67	1.82	1.32	0.77	2.12	2.23	2.07	1.77	1.76
感染性胃腸炎	報告数	9,933	2,972	242	78	142	636	356	882	636
	定点当たり	3.15	3.14	3.23	1.63	2.45	3.95	2.66	3.39	3.03
水痘	報告数	724	208	27	5	8	49	28	46	45
	定点当たり	0.23	0.22	0.36	0.10	0.14	0.30	0.21	0.18	0.21
手足口病	報告数	6,676	3,248	336	145	71	649	437	849	761
	定点当たり	2.12	3.43	4.48	3.02	1.22	4.03	3.26	3.27	3.62
伝染性紅斑	報告数	136	57	4	1	11	6	3	11	21
	定点当たり	0.04	0.06	0.05	0.02	0.19	0.04	0.02	0.04	0.10
突発性発しん	報告数	1,311	388	10	29	16	80	39	125	89
	定点当たり	0.42	0.41	0.13	0.60	0.28	0.50	0.29	0.48	0.42
百日咳	報告数	32	8	-	-	-	3	3	1	1
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.02	0.02	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1,541	692	47	5	40	124	127	191	158
	定点当たり	0.49	0.73	0.63	0.10	0.69	0.77	0.95	0.73	0.75
流行性耳下腺炎	報告数	1,052	235	5	13	35	34	27	41	80
	定点当たり	0.33	0.25	0.07	0.27	0.60	0.21	0.20	0.16	0.38
急性出血性結膜炎	報告数	5	2	-	1	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.01	0.01	-	0.08	-	-	-	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	587	206	15	20	22	51	21	19	58
	定点当たり	0.85	1.01	0.88	1.67	1.57	1.24	0.64	0.50	1.18
細菌性髄膜炎 #2	報告数	10	3	-	-	-	-	1	2	-
	定点当たり	0.02	0.04	-	-	-	-	0.11	0.08	-
無菌性髄膜炎	報告数	16	4	-	-	-	3	-	-	1
	定点当たり	0.03	0.05	-	-	-	0.30	-	-	0.10
マイコプラズマ肺炎	報告数	153	26	2	5	7	2	5	1	4
	定点当たり	0.32	0.32	0.15	0.71	0.88	0.20	0.56	0.04	0.40
クラミジア肺炎 #3	報告数	7	2	-	-	-	-	-	2	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	-	-	0.08	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	3	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)



埼玉県の腸管出血性大腸菌検出状況（2017.9月末現在）

2017年に埼玉県で分離され、衛生研究所で確認した腸管出血性大腸菌は9月末現在で189株です。すでに昨年1年間の検出数131株を超え、大幅に増加しています。この検出数の増加は、複数施設での集団感染事例や食中毒の発生が要因です。感染者の内訳をみると下痢・腹痛などの症状を呈した有症状者から分離されたのが109株、業態者検便や接触者検便での無症状者からの分離が80株でした。有症状者の発症日でみた月別の分離数では、1月から5月までの合計が15株でしたが、6月に9株、7月に15株と徐々に増加し、8月には52株と分離株数が急増しました。これは食中毒事例が複数発生したためです。10月に入り、細菌性食中毒の多発する高温多湿な夏場を過ぎましたが、依然として患者の発生が続いており注意が必要です。

検出された腸管出血性大腸菌の血清型・毒素型別検出数を下表に示しました。O血清型は、例年通りO157が116株と最も多く、次いでO26が57株でした。O157の毒素型では7割以上がVT2産生株で占められました。

表 検出された腸管出血性大腸菌の血清型・毒素型別検出数(2017.9月末現在)

血清型	毒素型			計
	VT1	VT2	VT1&2	
O157:H7	-	83	27	110
O157:H-	-	2	4	6
O26:H11	55	-	-	55
O26:H-	2	-	-	2
O121:H19	-	5	-	5
O111:H-	1	-	3	4
O146:H10	1	-	-	1
O84:H-	1	-	-	1
O91:H-	1	-	-	1
O93:H7	-	1	-	1
OUT:H-	-	2	-	2
OUT:HUT	-	1	-	1
	61	94	34	189

UT：型別不能 (-：0)

衛生研究所では、感染症発生動向調査の一環として病原体の収集を行っています。今後とも、ご協力をお願いします。

メニュー

感染症発生動向調査 2017年

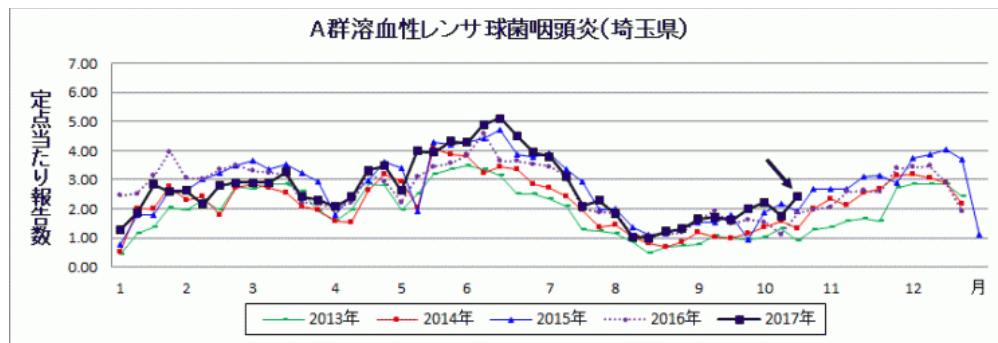
- [感染症の流行状況 2017年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第18週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第19週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第20週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第21週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第22週](#)

感染症の流行状況 2017年 第42週

2017年第42週（平成29年10月16日～10月22日）の要点 平成29年10月25日

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、前週より増加し、今後の動向に注意が必要です。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹に関する情報の掲載ページへ](#)
- [風しんに関する情報の掲載ページへ](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	↓	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	→	★★	百日咳	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	★★	ヘルパンギーナ	→	★
感染性胃腸炎	→	★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
水痘(みずぼうそう)	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
手足口病	↓	★★	流行性角結膜炎	↑	★★★

*1. 推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2. 推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3. 流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン